

# 南三陸町の復興の象徴として架けられます。



工事概要

構造概要

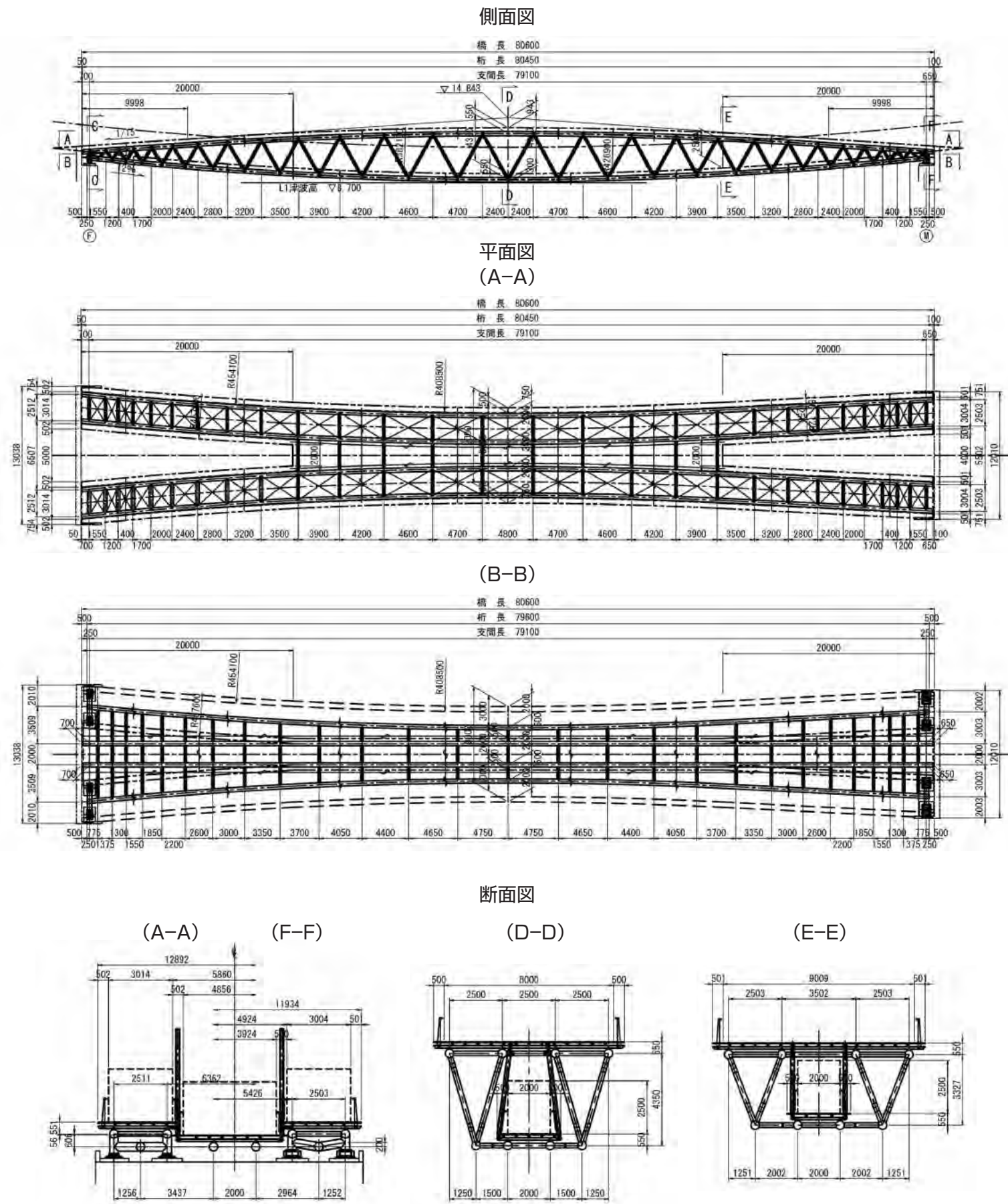
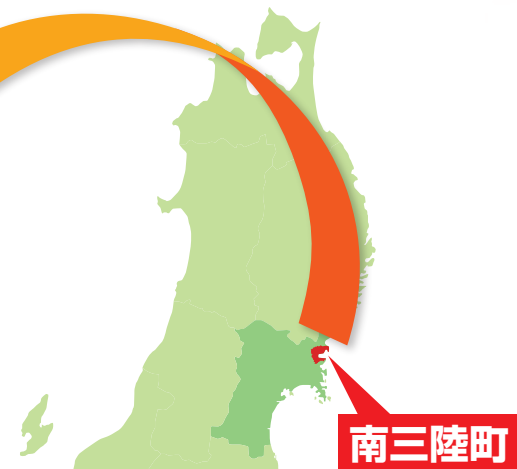
工場板組立状況(令和元年9月14日現在)

宮城県南三陸町は、東日本大震災の津波で被災した志津川地区の一部の復興まちづくりで、隈研吾建築都市設計事務所にランドデザインを依頼。中橋は対象区域の観光・商業エリアと復興記念公園の間を流れる八幡川に架設する橋梁で、復興の象徴と位置付けています。パイプトラuss構造の上部工など躯体の使用材料は鋼材やコンクリートが主体で、床版には復興の象徴の橋にふさわしいものにするため、宅地の高台移転の工事で伐採した町内産の杉材を多用しています。社社の千本鳥居を思わせるデザインを施して、被災者の鎮魂の場になる復興記念公園への参道に見立てています。

工事名	平成29年度中橋上部工工事
施工位置	宮城県南三陸町五日町塩入地内
発注者	南三陸町
設計者	パシフィックコンサルタンツ 隈研吾建築都市設計事務所設計共同体
形式	鋼パイプトラuss形式(ダブルデッキ)
主要鋼材	SM490Y、STK490、STK400
鋼重	280t
架設工法	トラッククレーンベント架設
橋長	80.600m
桁長	80.300m
幅員	8~13m



位置図



この印刷物は、FSC® 認証紙と環境にやさしい植物油インキを使用しています。紙へリサイクル。

**矢田工業株式会社**  
〒963-0921 福島県郡山市西田町鬼生田字阿廣木1番  
TEL.024-972-2811(代) FAX.024-972-2884  
<http://www.yada-k.co.jp>



# 南三陸町 中橋 NAKA BRIDGE

夢を力に、明日へ架ける。  
**矢田工業株式会社**



# 橋であり、広場でもあるダブルデッキ。



## 構造

### 町内産の(南三陸杉)をふんだんに使って。

南三陸は、古くから良質な杉の産地として知られています。伊達正宗公が城下に大橋を架ける際、南三陸の杉の大樹を求めたそうです。復興の象徴ともいえる「中橋」にも、2層構造(ダブルデッキ)の床板をはじめ、ウッドゲートなどさまざまな箇所に、高台移転の工事で伐採した杉を使っています。規格品ではないので、床板板は乱尺張りを想定し、片持ち部のたわみを歩行性に大きな影響がない1mm程度に収め、板厚40mm、根太ピッチ600mm以下にしています。ちなみに、杉の学名は「クリプトメリア ジャポニカ」——和訳すると「隠された日本の財産」です。



上層・下層ライン

### 鋼パイプトラスで(南三陸杉)の橋版を支えて。

橋体構造には、鋼製のパイプで構成するパイプトラス形式を採用。橋全体をレンズ状のフォルムにすることで、橋梁端部の構造高を低くすることが可能になり、堤防景観との高い融合性を実現しています。鋼橋でありながら「木の橋」の風情を最大限にイメージできるよう、堤防面に橋台堅壁を極力露出させないことを基本方針に、橋長を80.6mに設定しました。各部材の断面力を算出し、その断面力によって各部材の必要寸法を決定。部材相互の継ぎ手は、「弦材・水平材は、現場溶接」、「斜材は、組み立て時のひずみを逃がす高力ボルト」による連結構造です。



# 自然豊かなリアスのまち。

優美なリアス海岸の景観が、訪れる人々を魅了して。

南三陸町は、宮城県北東部、本吉郡の南部に位置しています。南は石巻市、西は登米市、北は気仙沼市に接し、東は志津川湾、伊里前湾に面しています。入り組んだ地形のリアス海岸が、湾内の島々と相まって優美な景観を形づくる沿岸部一帯は、南三陸金華山国定公園屈指の見どころとして、訪れる人を魅了してきました。現在、南三陸金華山国定公園は、東日本大震災で被災した三陸地域の復興に貢献するために創設された三陸復興国立公園に編入されています。



## 南三陸町 志津川地区 ランドデザイン

### まちの復興を描く。復興のランドデザインを、隈研吾さんに。

南三陸町では、被災した志津川地区の低地部嵩上げ工事を行い、利用しやすいように再整備して区分けする区画整理事業を進めています。そして、復興に向けた新しいまちづくりの指標になり、イメージしやすく、さらに魅力的なまちをめざすためのプラットフォームになる。志津川地区の復興まちづくりランドデザインを、「新国立競技場」をデザインされた世界的な建築家、隈研吾さんに依頼しました。



写真提供：南三陸町



南三陸さんさん商店街

### 豊かな自然と共生するまちづくりの指標に。

山に抱かれ、海に向かって開かれた南三陸町は、理想的な生態系を有する里山・里海のまちです。そこには、万物の生命が循環する自然と共生し、自然の豊かな恵みを楽しむ人々の暮らしがあります。そんな南三陸町が南三陸町であるゆえは、これからも変わることはありません。訪れる人が「日本の原風景」と形容する、穏やかな気候と、豊かな自然。細やかな人々の暮らし——そんな南三陸町のランドデザイン作成にもっともふさわしい建築家が、隈研吾さんでした。

### 八幡川の下流域周辺を中心に。

ランドデザインには、志津川地区まちづくり協議会で出された意見や中間提言書が反映されています。中間提言書の基調である「低地部の「自然・ひと・なりわいの紡ぐまち」の創出」は、自然との親和性を大切にしている隈研吾さんの建築思想に通じるものです。2017年3月3日には、隈研吾さん設計の「南三陸さんさん商店街」が、5年間の仮設営業を経て、本設オープンしています。商店街近くには、志津川湾を一望できる展望台もあり、地元の人たちだけでなく、県外からの観光客で賑わっています。

## 上部工架設概要

架設はクレーンベント架設工法を採用しています。河川内にベントを設置した後、地組立が完了した中央ブロック(約40t×2ブロック)を500t吊クレーンにて架設します。中央ブロックの架設が完了した後に、側径間ブロックの地組立を行い、側径間ブロック(約36t×4ブロック)を360t吊クレーンにて架設し、側径間ブロック架設完了後、ベントを撤去して架設完了となります。現場継ぎ手構造は全断面溶接接合となっており、現場溶接時の品質管理が特に重要となります。



## 中橋竣工写真

